

# バイオマス液体燃料既存発電事業者の 経過措置に対する対応報告

令和4年4月13日（水）

一般社団法人 環境・エネルギー事業支援協会

 (旧)一般社団法人 バイオマス発電協会

- 事業計画策定ガイドランに定められた経過措置の対象となる発電事業者により構成される「持続可能なバイオ燃料発電コンソーシアム」に対して、認証油の取得、自社ホームページにおける情報開示の状況について確認を行った。



- 【加盟企業】
- ・株式会社エナリス
  - ・神栖パワープラント合同会社
  - ・ゼロワットパワー株式会社

### (1) RSP0認証油調達について

- 商社経由での調達においては市場流通量が少なく、調達は極めて困難な状況。
- サプライヤーとの直接契約する事業者の場合、RSP0 IP/SG対応の大手サプライヤーと長期安定契約の締結が行われ、供給可能な体制が準備されつつある。

○ RSP0 IP/SGの認証調達に関しては、各社とも2022年3月現在で調達が困難な状況が継続しており、発電所は稼働停止している。

## (2) ISCC認証の利用可能性についての調査・対話

- インドネシア、マレーシアで広く欧州向けに第三者認証として普及しているISCC認証の調達可能性を調査・検討を行ってきた。(認証取得費用、プロセスが他認証と異なる)
- 2021年度持続可能性WGでは、農業残渣燃料が認証として既に承認されており、ISCC本部とは2022年2月にコンソーシアム各社とISCC本部との意見交換において、ISCC日本パーム油認証を日本代理機関を通じて申請することを確認。

○コンソーシアムでは2020年度より、ISCC本部と定期的に情報交換や意見交換を行っております。

○ISCC認証はパーム油以外の液体燃料について認証実績があり、経過措置の設定期間の関係もあり、認証取得や調達に関する期間も考慮すると、早期にISCCパーム油認証が申請・承認されることを要望してきました。

○ISCCパーム油認証が承認された場合、サプライチェーンにおいて追加的に確認を要するが、時間的にはそれほどかからない見込みであり、監査員等によるリモートでの確認を通じて迅速に行われる見通しである。

○MBでなく、SG認証になるため、ISCC認証ミル自体とISCC認証を有する農園が適切に結びついていいる必要があり、コンソーシアム各社が有するサプライチェーンにおいて引き続き確認などを進めていくことにしている。

# 株式会社エナリス

認証油調達の現状	2020年度はRSPO/SG認証油を調達出来ていたが、2021年の年初には製造量少なく、納入を断られた。 方針として「RSPO/SGのみを使用する」としており、現在は調達・運転していない。
認証油調達に関する取り組み	他サプライヤーからの調達も検討しているが、認証申請中もしくは認証済みだが上述と同様の状況。
認証油調達の見込み	複数サプライヤーと交渉中だが、現状では見通し不明。
その他	認証制度として既に普及しているISCCなど他の認証と合わせた柔軟的な運用が必要。
情報開示	●「 <a href="https://www.eneres.co.jp/biomass">バイオマス発電事業におけるパーム油調達の自主的取組について</a> 」掲載 ●「 <a href="https://www.eneres.co.jp/traceability/code_plant">トレーサビリティを証する管理番号</a> 」と燃料使用量掲載
発電所稼働状況	発電所2箇所：いずれも稼働停止中

トレーサビリティを証する管理番号

## 【RSPO燃料使用量と管理番号】(2020年)

2020年度 燃料使用量 (トン)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北京城発電所	2,408	2,408	2,464	2,338	1,562	1,441	980	727	751	822
常陸那珂発電所	3,670	3,992	4,056	3,447	3,406	3,836	1,351	2,131	1,828	1,128
第三者認証	RSPO	RSPO	RSPO	RSPO	RSPO	RSPO	RSPO	RSPO	RSPO	RSPO

トレーサビリティを証する管理番号

## 【同】2021年

2021年度 燃料使用量 (トン)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北京城発電所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
常陸那珂発電所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
第三者認証	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

管理番号

- TR-360cec7c-bcdf
- TR-5b3c67b6-86c9
- TR-b1a73209-36f8
- TR-51a374f7-4d4f
- TR-571e80d1-5bc3
- TR-73a22776-29a7
- TR-985935dd-d40f
- TR-8dfa5600-1f08
- TR-558e9415-1f6b
- TR-a3e7da81-baac
- TR-f279432b-45f0
- TR-ad282763-81fe
- TR-bc3b6022-e224

管理番号

・

※管理番号

RSPO認証されたアブラヤシ製品のみのトレーサビリティシステムであるRSPO PalmTraceで管理されているID  
無し、日本の産に輸入した際に記載、発電所では入力先読みシステムに使用

過去の燃料使用量

2020年度

**1. バイオマス発電事業**  
当社グループは、バイオマス発電所2ヶ所（出力合計約3.7万kW）を保有し、当社グループが電力供給する電源の一部として、年間総発電量約2.8億kWh（世帯換算で約8万世帯分）の発電を2015年より行っています。また、当該発電所は、化石燃料や原子力に頼らない再生可能エネルギー普及促進を目的として制度化された固定価格買取制度に認定されています。当社グループのバイオマス発電所は、アブラヤシ産業を絞り精製されるパーム油を燃料とするもので年間約7万トンを利用しています。

株式会社エナリスパワーのホームページはこちら

**2. 固定価格買取制度に基づく事業計画策定ガイドライン (2020年4月改正)**  
パーム油は全世界で年間7000万トン以上生産されていますが、近年、パーム産国開発やパーム油産出において、森林破壊や人権侵害等の問題との関連性が指摘されています。ガイドライン（バイオマス発電）では、すでに運転を開始している発電事業者に対し、持続可能性の確保に関する自主的取組を自社ホームページで開示することとされています。当社グループは、持続可能性を確保したパーム油調達を目的として、以下の自主的取組方針の活動を行っています。

**3. 自主的取組方針**  
1. 当社グループは、事業計画策定ガイドラインの主旨や、「持続可能なパーム油」の生産と利用の促進と普及を目的としたRSPO#1の取組み、パーム産最大の産油国のパーム油生産・流通の認証基準（MSPO#2：マレーシア / ISPO#3：インドネシア）の制度化などの、パーム油の諸問題の解決に向けた世界的な動きに賛同し、パーム油を利用する企業として、持続可能なパーム油調達に積極的に取組んでまいります。  
2. 当社グループは、持続可能性の確保に関する自主的取組として、契約先の農および調達の現地サプライヤーと協力し、RSPOなど持続可能性基準に適合パーム油のみを使用します。

**4. 自主的取組方針に対する具体的施策**

1. パーム油のトレーサビリティ  
当社は、燃料となるパーム油の調達契約を国内大手農産社と締結しています。燃料は当該農産社より生産国から輸入されバイオマス発電所の燃料タンクまで運搬、供給されています。農産社は、当社取組方針に従い調達元となる現地サプライヤーと契約し、RSPOなど持続可能性基準に適合したパーム油のみ調達しています。各生成工程でのトレーサビリティ管理は第三者認証制度があるサプライチェーン管理の手法を用いて管理され、当社はこれを証する管理番号を把握致します。

2. 持続可能なバイオ燃料発電コンソーシアムの組成およびその活動  
当社は順にパーム油を燃料として発電事業を行う企業と「持続可能なバイオ燃料発電コンソーシアム」を組成し、液体バイオマス燃料（主にパーム油）に関連した持続可能性向上への取り組みを推進することを目的とした活動を行っています。活動内容は下記コンソーシアムHPにて随時開示いたします。

## 神栖パワープラント合同会社

認証油調達現状	燃料供給の長期契約を締結しているサプライヤーのRSPO SG認証取得が、コロナの影響で遅れているが、 <b>新たなサプライヤーとして、RSPO認証工場と燃料安定供給契約を締結した。</b>
認証油調達に関する取り組み	現地サプライヤーのRSPO SG認証取得への働きかけと、他のサプライヤーとのRSPO SG認証油の安定供給の可否。 現地に入れないので、偽RSPO SG情報などの精査。
認証油調達の見込み	現在のところ、数量が安定的に調達できる見込みが立っていない。
その他	ISCC認証など、認証の多様性が必要と感じる。
情報開示	<p>●<b>弊社HPにて、サプライヤーのRSPOサプライチェーン認証の情報公開を開始</b></p> <p><a href="http://kamisupower.com/images/Wilmar.pdf">http://kamisupower.com/images/Wilmar.pdf</a></p> <p>●<b>その他調達先情報</b></p> <p><a href="http://kamisupower.com/sustainable.html">http://kamisupower.com/sustainable.html</a></p>
発電所稼働状況	発電所1箇所：稼働停止中

**KAMISU** 神栖パワープラント合同会社

HOME 神栖パワープラント 神栖パワーニュース 燃料調達状況 コンクリディング事業 サステナビリティ 会社概要 お問い合わせ



**RSPO認証工場と燃料安定供給契約を締結しました。**

当社はRSPO認定工場である「LIMAU DATU EDIBLE OILS SMD BHD」及び「SANDAKAN EDIBLE OILS SMD BHD」を新たなサプライヤーとして燃料安定供給契約を締結しました。

[詳細はこちら](#)

**認証油調達の現状と今後の取り組み**

パーム油は世界の食糧や飼料として広く消費される重要な資源です。しかし森林破壊などによるパーム油生産の拡大は、持続可能性のあるパーム油の調達を妨げています。

神栖パワープラントでは、この問題に直面する社会に配慮し、持続可能性のあるパーム油の調達を目指しています。精製工場では、パーム油製造のための原料が多岐にわたるため、現在は調達先でのチェックが厳格に行われています。

そして大小様々なパーム油産地が持続可能な取り組みを支持し、現地の環境・人権・労働問題の解決に貢献していきます。

また、自主的機関として「持続可能なバイオ燃料発電コンソーシアム(JCSBG)」を設立。本協会の会員として社会貢献活動に引き続き取り組んでまいります。

JCSBG行動指針など詳しくはこちら

**JCSBG 持続可能なバイオ燃料発電コンソーシアム**

[www.jcsbg.or.jp](http://www.jcsbg.or.jp)

2020年7月31日現在

本協会の加盟工場（新嘉坡）に製菓を持ち込む。おおよそのエリアとなります。




Mill Name	PT. SANGKAT
Country	Malaysia
Address	PT. SANGKAT, Jalan Pengkalan, District, Kuala Lumpur, Federal Territory of Kuala Lumpur, Malaysia




## ゼロワットパワー株式会社

認証油調達の現状	通常のパーム油についてもコスト上昇により確保が困難になっている。RSPOのSG認証油については、供給に可否についても回答が得られていない。
認証油調達に関する取り組み	搾油工場などへの出資を検討中。出資することにより調達が有利になることを期待している。
認証油調達の見込み	RSPOのSG認証油については、工場設備の更新などが必要となるため、現地の都合にもよることから時期については今のところ未定
その他	パーム油以外の燃料も模索中
情報開示	<a href="https://zerowattpower.co.jp/renewable_energy">https://zerowattpower.co.jp/renewable_energy</a>
発電所稼働状況	発電所5箇所：4箇所稼働停止中。運転再開は未定。 1か所はパーム油は使用せず、廃食油で稼働中。(設備利用率50%)



ゼロワットパワー株式会社

事業案内 再生エネルギー情報 企業情報 採用情報 よくあるご質問 お問い合わせ  
SUSTAINABLE ENERGY COMPANY RECRUIT FAQ CONTACT

### サステナビリティ

#### バイオマス液体燃料発電について

ゼロワットパワーでは、地球温暖化の原因の一つである温室効果ガスの削減のために、発電用燃料はバイオマス資源由来の燃料を使用しています。スーパーやコンビニエンスストア、外食チェーン店舗などから発生する廃食油を精製し、ディーゼルエンジンの燃料として使用しています。また、廃食油が不足する場合には、パームステアリンを使用します。その他、遊休農地や耕作放棄地を活用した油糧作物の栽培にも取り組んでおり、将来は国産バイオエタノールも燃料として活用する予定です。

#### 持続可能なパーム油調達方針

私たちは、電力供給事業者としての供給責任を果たし、持続可能な再生可能エネルギーによる電力供給を続けていくことを目指しています。私たちの調達が社会的、経済的に持続可能である必要があると考えています。当社グループの発電所（TPGP土浦第一発電所、岩槻発電所、春日部バイオマス第一発電所、熊谷バイオマス発電所、ムゲンエナジーバイオマス第二発電所）は、人々と地球環境を尊重するサプライヤーから責任ある方法で生産されたパーム油調達を目指し、ステークホルダーと協働して調達方針に即した調達に努めてまいります。

#### RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）

当社は2018年に持続可能なパーム油のための円卓会議（RSPO）に加盟しました。責任ある調達を実現するために、買付けから国内輸送、輸出～輸入手続き、国内輸送まで自らの責任で行う予定です。現在はマレーシア（クアラルンプール）に駐在事務所を開設し、サプライヤーと協力しながら調達ルートの調査をしている最中です。

#### JCSBG 持続可能なバイオ燃料発電コンソーシアム

株式会社エナリス、神栖パワープラント合同会社、ゼロワットパワー株式会社を中心とする持続可能なバイオ燃料調達を進めようとする企業共同団体。JAPAN CONSORTIUM FOR SUSTAINABLE BIOMASS REFINERY 産学官連携コンソーシアムを設立しました。



ゼロワットパワー株式会社

〒277-0871  
千葉県佐倉市新堀178番地4 船の葉キャンパス KOIL  
04-7126-0561（平日10:00～17:00）

ホーム 公開資料一覧 個人情報保護  
個人のお客様 企業情報 お問い合わせ  
法人のお客様 よくあるご質問 採用情報  
再生エネルギー ニュース English  
サイトのご利用条件 特定商取引法に基づく表記